

日高地区コミュニティ
「きらめき日高」
地域づくり計画



令和 5 年 3 月

『みとめ合い、ささえ合い、みんなでつくる日高地区』

- ① 資源や伝統を活かし、活気のあるまち
- ② みんなが健康で支え合い、いきいきと暮らせるまち
- ③ 人がつながり、いざという時の備えのあるまち
- ④ 人が育ち、地域の課題に柔軟に立ち向かうまち
- ⑤ 情報が整理され、見通しのよいまち

はじめに

日高地区コミュニティ「きらめき日高」は、平成 28 年 12 月に設立し、活動を始めました。地区公民館の事業を継続し、加えて福祉、健康、防災にも取り組んできました。地域の皆様の絆を深めようと活動を始めて3年が経過した令和 2 年に、住民アンケートを実施し、それを基に過去を振り返り、現在を把握し、未来を見据えた地域づくり計画の策定に取り組んできました。

高齢化、少子化など、課題が具体化してきましたが、課題解決に向け、すぐできること、少し先にできること、10 年先のあるべき日高地区を考え、地域づくり計画を策定しました。無理せず、急がず、楽しく、皆様と一緒に持続可能な地域づくりに取り組んでいきます。楽しいことは一緒に楽しみ、困ったことは助け合う、日高地区の皆様のご理解、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

日高地区コミュニティ「きらめき日高」

会 長 西 村 勲

目次

1. 日高地区の概要

歴史的背景・公共施設等の資源

2. 日高地区の現状

(1)地区の人口・世帯数・高齢化率

(2)住民アンケートの結果による地区の課題

(3)ワークショップの結果による地区の資源

3. 計画推進の期間

4. 日高地区の目指す姿

5. 取り組む活動や事業について

6. 今後の課題

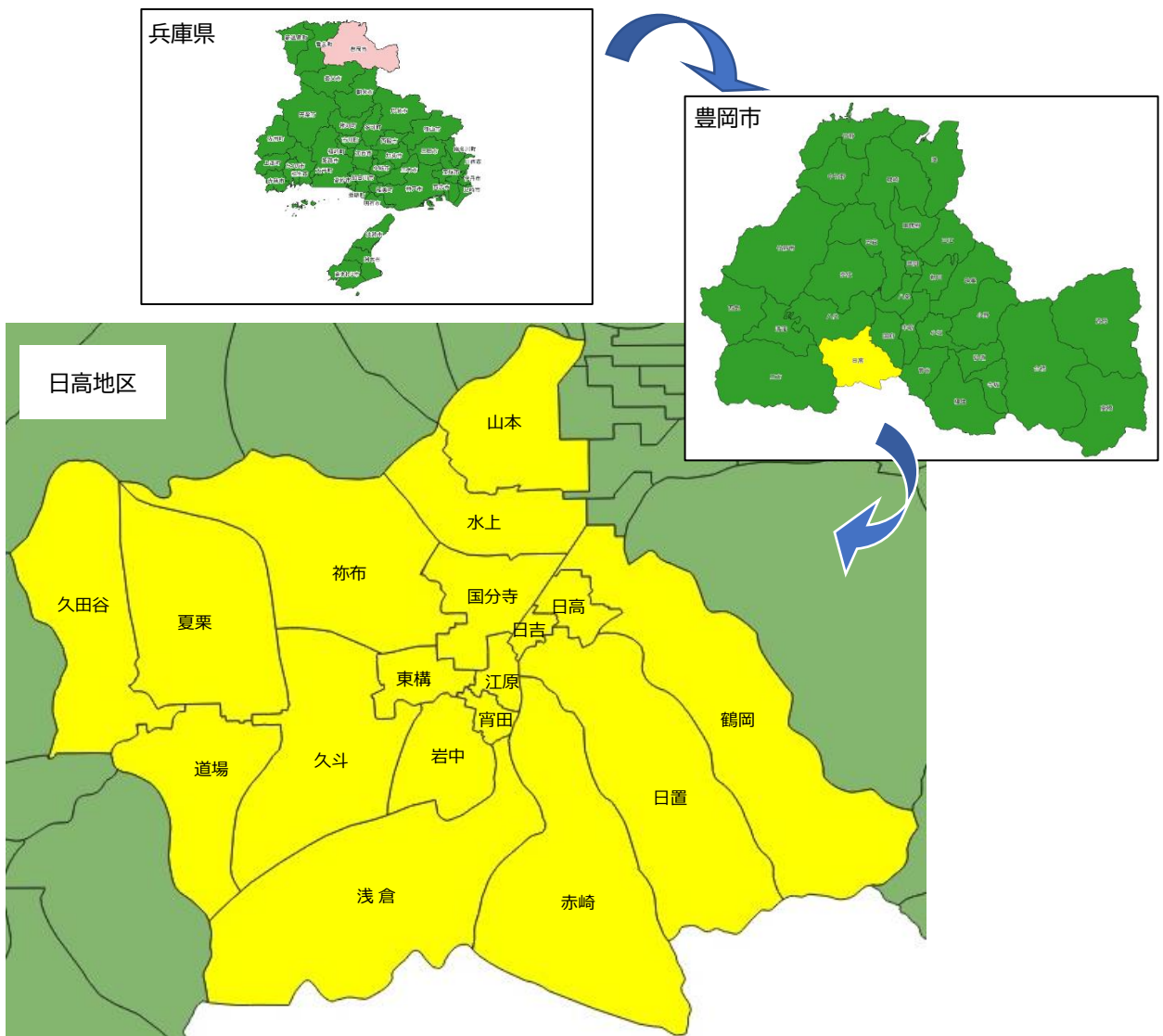
1. 日高地区の概要

私たちの日高地区は、豊岡市の最南部に位置し、古来から但馬の中心として栄えてきました。

山林が区域の約7割を占めており、南北には円山川が東西には稲葉川が流れ、その流域沿いの平野部にはJR江原駅を中心とした市街地とその周辺には農地が広がり自然景観が素晴らしい地区です。面積は、約24立方メートルで豊岡市全体の約3.5%を占めています。市街地には、豊岡市役所日高振興局、日高医療センター、日高高校などの行政・医療・教育施設や商業施設などが集まっています。

また、地区の中心を国道312号、北近畿豊岡自動車道が南北に通る、国道482号が東西に交差する利便性の良いところです。

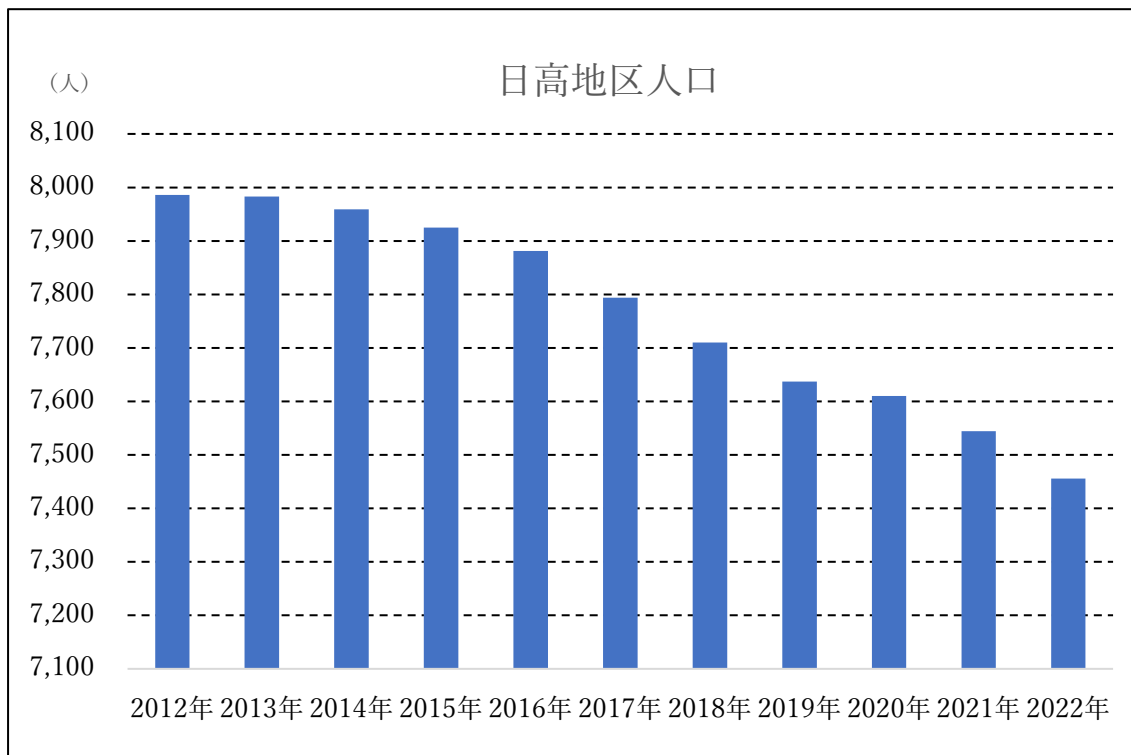
日高地区には、奈良・平安時代に建立された国分寺や国分尼寺が建立され但馬国の中心として栄えていました。国指定の但馬国分寺跡(国分寺)、県指定の楯縫古墳(鶴岡)豊岡市指定の久斗兵主神社のケヤキ(久斗)、井田神社社叢(鶴岡)があります。



2. 日高地区の現状

(1) 日高地区の人口・世帯数・高齢化率

2022年3月31日現在の住民基本台帳より

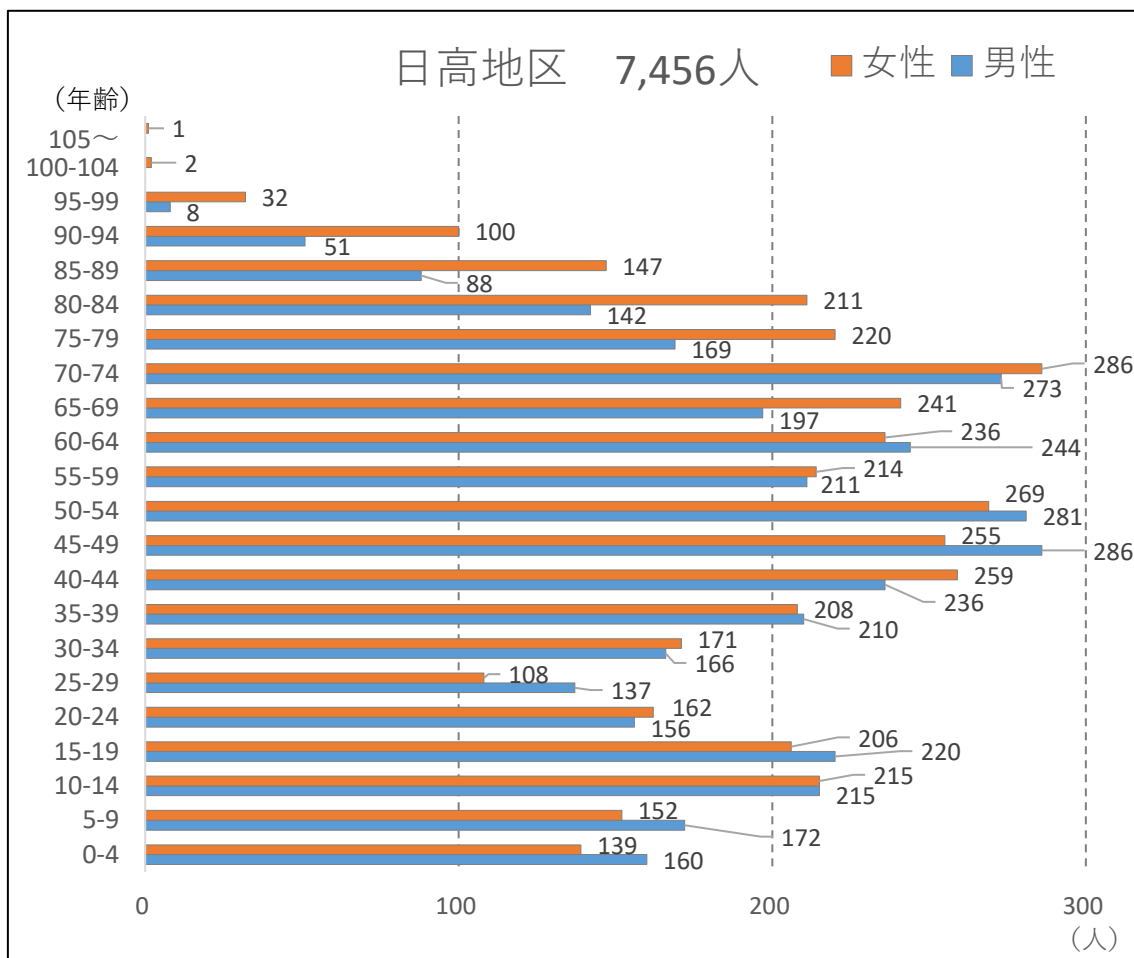


	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
日高地区	7,986	7,983	7,959	7,925	7,881	7,794	7,710	7,637	7,610	7,544	7,456

日高地区は、旧日高町の中心に位置し人口 7,456 人、世帯数 3,052 世帯、2012 年(10 年前)と 2022 年を比べ、人口は約 530 人減(約 6.6%減)の状況です。

区分	人口	男女比率	55歳以上		65歳以上		75歳以上		2021年同期	
			人口	率	人口	率	人口	率	人口	増減
男性	3,622	49%	1,383	38.2%	928	25.6%	458	12.6%	3,657	-35
女性	3,834	51%	1,690	44.1%	1,240	32.3%	713	18.6%	3,887	-53
合計	7,456		3,073	41.2%	2,168	29.1%	1,171	15.7%	7,544	-88

【性別年代ごと】



	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54
男性	160	172	215	220	156	137	166	210	236	286	281
女性	139	152	215	206	162	108	171	208	259	255	269

	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100-104	105～
男性	211	244	197	273	169	142	88	51	8	0	0
女性	214	236	241	286	220	211	147	100	32	2	1

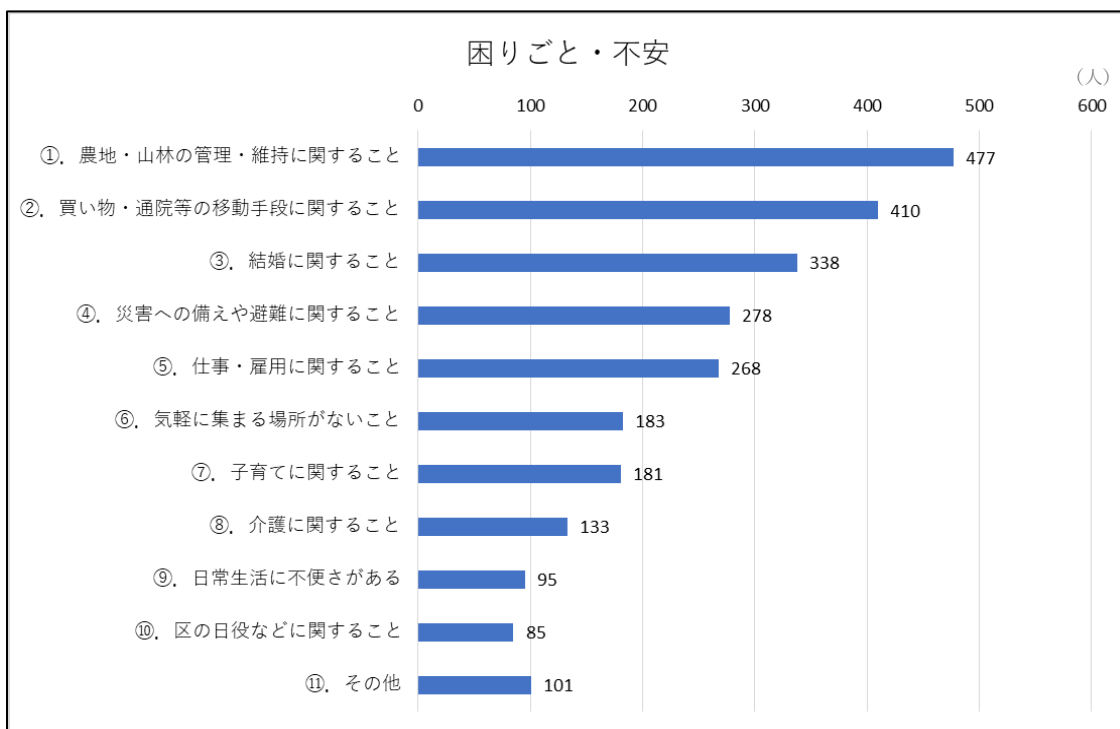
年代区別では、70歳～74歳が最も人口が多く次に50歳～54歳、45歳～49歳の順になっています。

高齢化率、後期高齢化率は、65歳以上の割合が29.1%で、男性の高齢者の人数より女性の高齢者の人の数の方が絶対数としても多く、100歳以上の3人も女性となっています。

分譲地やアパートが増えた自治区では子どもの数も増えてはいますが、日高地区全体としては、子どもの人数は減少傾向となっています。

(2) 日高地区の全世帯アンケート結果の課題

日高地区では、今後どのような地区になっていくか検討するため、全世帯アンケートを2020年10月～11月にかけて実施しました。配布総数2,208件のうち1,443件の回答(約65.4%)をいただきました。そのうち、日高地区の課題・資源について以下に記載します。なお、アンケート結果全編は別紙「全世帯アンケート調査報告書」に記載しています。



困りごと・不安では農地山林の管理維持に関すること、防災に関すること、区の日役に関するものが上位の項目として挙がりました。他方で、回答なし・特になしという人も少なからずいます。また、自由記述では以下のような意見が見受けられました。

今年、ウイルスの為、全行事等が中止となり今後はいかがなものか？と不安がある。
コロナの影響で先が見えないこと。
ここ最近、急激な宅地造成と建築ラッシュに伴い交通量の増加や交差点の見通しが悪化している。これに伴い幼児や子供を含め交通事故の発生が増加が心配されている。
病院の医師が高齢かつ後継者が不在。将来の医療が不安。
飲食店が少ない、娯楽施設が少ない
過疎で日役等代替わりが出来ず年老いても出席しなくては行けない。区の日役が多い。行事がいっぱいある。
区役員をする人物がいない。
空き家の増加と放置
今現在は何とかなっているが現状維持できるか
雪が降ったら道あけが大変で困る
防犯に関すること。家の回りが夜暗く心配
野焼きをやめてほしいです。
住宅地域が広がり防火用水が無い所が多い
デジタル化の進展についていけない
家、墓の事


(3) 日高地区の資源

日高地区の資源については、ワークショップを実施する中でみなさんに考えていただき、以下の意見が出ました。


交通の便が良い	但馬の真ん中にある	人柄・人材が豊富	子育てがしやすい	住環境が便利	施設が揃っている	草刈り→冬場雪かき
官公庁施設	小中高の学校が揃っている	病院等たくさんある	観光施設が多い	商業施設が多い	葬儀場が多い	明るい夜道
優良企業がある NAKATAハンガー、オーク、しんめんてっこう	江原河畔劇場がある	文化財 寺社仏閣など	国分寺跡がある	地域のお祭り 夏祭り、ふるさとまつりなど	伝統的な祭り行事	人口が他よりまだ多い
自然が豊か (生き物、花)	神鍋高原 きもちいい	円山川 稲葉川 滝(稚児の滝)	進美寺白山 寿留喜山	食べ物がおいしい	水がおいしい (稲葉川からの水系)	学生が増える
駐車場がある	意外に空き家が回転してる	区の住宅の増加	水害の怖さを知っていること	畑作業の交流	行政区ごとでの交流の場	

また、それらを具現化したものが以下のとおりです。


主な施設と地区のお宝(資源)




● 豊岡市役所
日高振興局
● 豊岡市商工会



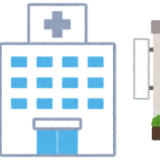
● 豊岡市立図書館
日高分館




● 日高子育てセンター




● 消防本部
日高分署




● 豊岡病院 日高医療センター
● 診療所 ● 歯科医院…等




● 町民公園芝生ひろば




● 日高幼稚園 ● 夢川保育園
● 夢川第二保育園 ● 静修保育園




● JR 江原駅 ● 全但バス
● 北近畿豊岡自動車道
日高神鍋高原インター



● コンビニ・食料品・スーパー…等
● ガソリンスタンド
● 金融機関・ATM



● 鶴岡大祭
● 楯縫神社の大神楽
● いぼとり地蔵(久田谷)
● 但馬国分寺跡(国分寺)



● 「はるかのひまわり」運動

● 豊岡市立歴史博物館 ● 日高文化体育館 ● 日高健康福祉センター ● 小規模多機能型居宅介護 ぐるらん ● 江原河畔劇場

さらに、日高地区コミュニティ「きらめき日高」では、「きらめきサポーター」という独自の制度を設け、既存の部会などにとらわれず、誰でもコミュニティや地域づくりに参加できるようにしています。

3. 計画推進の期間

前章までの状況を踏まえ、次章に記載する取り組み・事業を実施していきます。
なお、計画推進の期間は2023年4月～2032年3月とします。

4. 日高地区の目指す姿

日高地区コミュニティ「きらめき日高」では設立当初より以下の通りの姿を目指しています。

みとめ合い、ささえ合い、みんなでつくる日高地区

この姿に近づくことができるように、今後取り組む活動や事業を検討しました。

5. 取り組む活動や事業について

現在取り組んでいる事業とそれらの課題・解決方法を以下の通り検討しました。
また、新しい取り組みアイデアとして別途検討しました。それらを組み合わせ、別途ロードマップを作成し、すぐやっていくこと、3～5年後にやっていくこと、5年後にやっていくこと、それ以降に検討していくことを明確にしました。

日高地区地域づくり計画具体的な取り組みの内容(既存事業編)

項目	実施している事業	主管・関係団体等	見直しする課題	新規に取り組むべき課題(事業)
① 防災	災害に備え、防災組織の取り組みの充実、強化する。地域の安心と安全な暮らしを守るため救命に対する大切さを学ぶ。 ◎防災啓発活動 ◎普通救命講習 ◎初期消火訓練	安心みまもり部 自主防災委員 日赤奉仕団 消防署	まゆの里公園を利用した訓練 避難所開設・運営の明確化 指定管理後の運営と担当役割の検討	マイ避難カードの活用 合同防災訓練
② 防犯	地域の安全と安心な生活を守るため日高ふるさとまつりなどで啓発活動を行うイベントを実施。 ◎安心安全パトロール ◎通学時見守り	安心みまもり部 警察 防犯協会 子ども安全を守る会	安心安全パトロール従事者の高齢化	防犯協会との情報交換会 警察、学校関係者との情報交換会 詐欺・交通安全等の講習会を実施する。
③ 福祉	ひとり暮らしの高齢者などの生活実態を把握するとともにコミュニティ活動を理解してもらう。 ◎ひとり暮らし高齢者への訪問品配布 ◎子育て支援 ◎人権研修会	安心みまもり部 人づくり部 人権福祉委員 民生児童委員 社協	民生委員との話し合い(情報交換会) 福祉課題の整理 独居者の把握はできているが、障がい者・ひきこもりの情報は不足 子どもを対象にした事業への支援 家庭・職場・地域が一体となる人づくり・郷土愛を育む子育てコミュニティの役目とは 行政の制度の啓発、つなぎ役 まず、制度の情報集めをすること	子育て支援→フリママーケットを実施し物資を大切に作る心構えを身につけるとともに経済的な軽減を図る。 サロン・カフェ交流会を実施する。 ジェンダーギャップの解消研修会 日常生活の中で当たり前だと思っ過ぎている無意識の偏見に気づき、見直していく。

項目	実施している事業	主管・関係団体等	見直しする課題	新規に取り組むべき課題（事業）
④ 健康	地域住民の交流とふれあいを図りながら健康づくりの方法の研修をし、地域住民の健康づくりを推進する。 ◎健康づくり講座 ◎日高ふるさとまつり体力測定コーナー	安心みまもり部 人づくり部 健康推進委員	健康づくり講座で習得した内容をいかに各区内でひろめ定着してもらえるか	出前講座の内容を含め、情報提供を適切に行う。
⑤ 環境保全	空き家対策 遊休農地対策 山林放置対策	区長会 農会長会		
⑥ 文化	住民や団体からの参画を得て共に助け合い、地域の絆づくりを目指す。 ◎日高ふるさとまつり 住んでいるまちを知り、地域への愛着心を醸成する。 ◎地域探検「お地蔵さんめぐり」	ふるさとまちづくり部 文化委員	区の強み良い所のPRをする意義 区啓発パネル1枚は区から必須 各区何かに出てもらう 各区の中でも知らないこと多い お地蔵さんにこだわらなくてよい	コロナ感染予防対策を徹底したうえで工夫して実施する。屋台・バザーは趣味のグループなどの出店も可とする。 地区のマップづくりに取り組む 施設の由来を調べたものを展示する
⑦ 体育	区民相互の親睦、世代間の交流など、区民総出のイベントである。 ◎ふれあい運動会 ◎きらめき交流グラウンドゴルフ大会 ◎大縄とび大会	ふるさとまちづくり部 体育委員	区のまとまり度にかかなりの差がある 区の役員選出方法にも差がある 隣保長と各部のかかわりに差がある 役に定年制を用いているところあり	競技種目の検討 競技内容の検討
⑧ 人材育成	キャンプというイメージが強いが年少リーダー研修会は継続する。 きらめきサポーター募集と活用 個々に声もかけて登録してもらう 生涯学習講座 地域にどんな暮らしがあるか地域をしっかり知る。	人づくり部 青少年委員 青少年女性協力委員 事務局	地区委員はもちろん「きらめきサポーター」にも協力してもらう 「きらめきサポーター」について啓発不足である。興味のある方、一生懸命されている方に登録を促す。 「きらめきサポーター」がいかに活動されているかを「きらめきだより」等で啓発していく。 各区の事を共有する。 テーマに沿って講師を選定していく。	野外活動リーダーなど専門的な知識を持つてる方の協力も得る。 きらめきサポーター交流会として年一度は情報交換会を実施する。 区長と区の歴史やしきたりなどの情報交換会 区長だけではない、役割分担したうえで記録を残していく。 継続して学習できる講座の実施
⑨ 小学校合併			統合後、コミュニティの事業について各コミュニティ間の情報共有をし連携する。	学童保育での事業展開において、コミュニティでできることを検討する。
⑩ 指定管理	令和6年度を目的に指定管理に移行するのであれば年次計画を立て進めていく		豊岡市からの説明を受ける	指定管理に関する研修会 メリット・デメリットの整理と課題整理
⑪ 情報発信	事業報告については、写真を含めフェイスブックにあげている。	各部・事務局	SNSに募集記事や回数を増やしていくことは事務量が増加する。 きらめきだよりの記事内容の充実	登録団体についての活動を紹介していく。

日高地区地域づくり計画具体的な取り組みアイデア(新規事業編)

資源（色付き）・課題（色なし）	取り組みアイデア
但馬の真ん中にある	どこに行くのも近いので移住PRする
	行ってみたいお店や施設・イベント等で来客を増やす
地域のお祭り夏祭り、ふるさとまつりなど	お年寄りから若手まで幅広い年代に参加してもらう
特産品がない	HDK48を作る
	メディアの利用 HP/新聞/SNS
	地域の人みんなでブランド化する品物を選定
空き家、空き工場の増加	人が住めるように空き家を改修する資金援助を行う
	企業誘致 若い世代の働き口を作る
	まず空き家のリストを作ってローラーで聞き取り
	日高地区の色々な情報が書かれた媒体を作る（冊子、サイトなど）
	売りたい人、買いたい人、貸したい人、借りたい人の情報
	様々な就職先を作る。働きたいところがないと帰ってこない。
役員等のなり手がいない	ワークショップの場を作る
	役員選出の割合を見直す
	タイムキーパー役を作る
	会議の回数をなるべく減らす
	会議の内容を事前に知らせて原案を作って提案して話し合う
	事業の日程のスケジュールを早く知らせる
	役を受ける方がメリットがある環境を作る
	ボランティアグループ化（特化した）
	代替わりして引退した人も現役に戻る
	補助金を出してでも若い人に頑張ってもらって
	地区の人誰でも役員が出来るようにする
	順番に役員をする
	役員の仕事をできる人みんなで行う
	役員に対してみんなが感謝する
	区業務の業務量の見直し 適正配分！
役員を補佐するお助け隊を設置する	
業務の見直し 量・内容など	
役員の業務マニュアルを整備する	
役が集中する	役を減らす
	人口の少ない区は役を共有する
コミュニティの将来の担い手不足？	気軽にお手伝いしてもらって仲間に引き入れる
	具体的に場を作る
世代別の温度差	古きを学び新しいことを世代を超えて考える場
地区内に温度差がある	情報交換を定期的に行う

独居老人の高齢化	情報交換の場を作る、続けていく（地域のことについて）
	デジタル支援者を配置する wifi
高齢独居の方の把握はできているが、どんな要望があるのか分かりにくい	顔を合わせて配りものを渡す
	デジタルとリアルを両方うまく使って 下準備でデジタル活用 話し合いはテーマを持って
	テレビ画面に地区情報を流す
老人会の入会者が減	もうかることをする利益
車に乗れない年配が増加（免許返納）	免許返納したかたへの補助（介護タクシーも利用可）
医師の高齢化	健康高齢者表彰する 金一封！
	デジタル環境の整備
少子高齢化	若者がもどる 働く場所がある（魅力ある企業）
	結婚支援（日高版）をデジタルで立ち上げる
子どもの人数が少なくなり淋しい	村の良さをPRする。デジタルを使って若い人にPR
	生活の利便性（交通網など）
災害時の備えを「共有」しておくことが難しい	サバイバル体験みたいに防災訓練
新しく転居された方との交流	ラジオ体操、草刈りなど、なぜやるのかストーリーが欲しい。参加することが楽しいと思えるように…。
	新規の人を中心に区行事を計画実行してもらう
	共通の趣味など一緒に楽しめる事業で交流する
	小さなコミュニティでの交流からスタートして仲間を増やす
息子に嫁がない	おせっかいおばさんを増やす
子どもの奉納相撲→新しい住民さんとの認識のずれがある	地域の人が全員参加できるイベントを考える
鳥獣害対策、農地を荒らされる→自然があれいている	地域全員で農地を守る
	区内に草刈り組織の立ち上げ
	放棄地保全、草刈り隊、耕運隊的なものを組織してはどうか
	キレイ好きになってもらう（景観）
畑にシカが！どんどん出てくる	鹿の去勢をする
	山際のネットを整備する
耕作放棄地の増加	野菜作りに関心を持ってもらう 家庭菜園
	営農組合を作り任せる
	自分の得意を出し合う「お助け隊」を作る
デジタルのインフラ整備が遅れている	デジタル化整備 正午のサイレンも増やしてほしい
	スマホ教室
婦人会などがなくなり区の中で集まる機会が無くなった	ふるさとを思う心の教育（地域の担い手）人材育成

10年間のロードマップ

		課題	資源	取り組み	すぐ	3～5年後	5年後以降	具体的内容	なりたい姿	部会	
みとめ合い、ささえ合い、みんなでつくる日高地区	資源や伝統を活かし活気のあるまち		地域の祭り、夏祭り、ふるさとまつりなど	お年寄りから若手まで幅広い年代に参加してもらう	●			日高ふるさとまつり、グラウンドゴルフ大会などの実施	資源としてのおまつりを活用し、多様な人たちがコミュニケーションをとっている	ふるさとまちづくり部	
			世代別の温度差	古さを学び新しいことを世代を超えて考える場	●			日高ふれあい運動会、大縄跳び大会、地域探訪、お地蔵さん巡り	多世代の人たちが学び合う場があり、地域に対する気持ちの温度差が縮まっている	ふるさとまちづくり部	
			特産品がない	地域の人々がみんなでブランド化する品物を選定メディアの利用（HP/新聞/SNS）		●			既に地域内にある品物が特産品として売り出されている	ふるさとまちづくり部	
	みんなが健康で支え合いいきいきと暮らせるまち		デジタルのインフラ整備が遅れている		スマホ教室・日高地区老人学園	●			教室の実施	デジタルインフラの整備がされたときに誰でもデジタルデバイスが活用できるように	人づくり部
			75歳以上の独居の方が増えてきている		福祉に関する知見を深め、一人暮らしのご高齢の方とのコミュニケーションの場を作る	●			福祉研修会 一人暮らしの方への訪問品作り及びみまもり活動	福祉に関する知識を持っていて行動している人が増えている。	安心みまもり部
			災害時の備えを共有しておくことが難しい		サバイバル体験みたいに防災訓練	●			防災訓練の実施	災害時を想定した情報等の共有が防災訓練を通してできている	安心みまもり部
	人がつながり、いざという時の備えのあるまち		農地や土に興味がない		家庭菜園、子ども体験学習		●		野菜作りに関心を持ってもらう家庭菜園 子どもたちにも土づくりに興味を持ってもらう事業へ	自分たちで野菜を作ることによって農地や土に興味を持っている人が増えている	人づくり部
			新しく転居された方との交流が少ない		共通の趣味など一緒に楽しめる事業で交流する 小さなコミュニティでの交流からスタートして仲間を増やす ラジオ体操・草刈りなどへの参加を楽しみと思えるようにストーリーをつける	●			交流に関する事業の実施 具体的には、健康体操・玄さん元気教室・ふれあい喫茶など さらに、草刈り作業の後の懇親会などを開催する	移住者との交流が増えている	人づくり部 ふるさとまちづくり部
			新しい住民さんとの認識のずれがある →子どもの奉納相撲など		地域の人々が全員参加できるイベントを考える	●			日高ふるさとまつりの地区版（ミニを発足）	移住者とコミュニケーションがとれていて、お互いの思いや認識を伝え合っている	ふるさとまちづくり部
	人が育ち、地域の課題に柔軟に立ち向かうまち		コミュニティの将来の担い手不足？		気軽にお手伝いしてもらって仲間に引き入れる具体的な場を作る	●			きらめきサポーターの拡充 →自分のできることを登録してもらう、事業の手伝いをしてもらう (カメラが好きな人事業の記録写真を撮るなど)	自分の得意・できることを用いて地域内で活躍している人が増えている	人づくり部
			役員のなり手がない		ワークショップの場を作る 生涯学習講座	●			年始リーダー研修会の1コンテンツとしてワークショップ等を検討する	講座・WSを通して地域に興味関心のある人が増えている	人づくり部
			婦人会などが無くなり区の中で集まる機会が無くなった		ふるさとを思う心の教育（地域の担い手）人材育成	●			年少リーダー研修会 →飯盒炊飯、スタンプ、ウォークラリーなどを実施	子どもたちに対しふるさと教育が実施され、ふるさとを思う心が育まれている	人づくり部
情報が整理され見通しのよいまち		地区内に温度差がある		情報交換を定期的開催する	●			区長会へコミュニティで取り組んでいることや人材面での情報を伝える（各部の募集が区長へ通じにくい状況がある）	各区とコミュニティがつながり、各区に温度差が出ないように情報が共有されている	役員会	
		独居老人の高齢化		情報交換の場の提供		●		情報交換の場を作る、続けていく（地域のことに）	独居老人の人々の情報交換が続き、地域のことについて把握できている	安心みまもり部	
		高齢独居の方の把握はできているが、どんな要望があるのか分かりにくい		テレビの利用（みんなが持っているものに簡単にプッシュ型で情報が届くようになる）			●	テレビ画面に地区情報を流す	要望に対する地区内の情報が高齢独居の方にも届いている	安心みまもり部	

【参考】

意見として出てきたが、いったん置いておくもの

課題	資源	取り組み
独居老人の高齢化		デジタル支援者を配置する wifi
高齢独居の方の把握はできているが、 どんな要望があるのか分かりにくい		デジタルとリアルを両方うまく使って 下準備でデジタルを活用 話し合いはテーマを持って
役が集中する		人口の少ない区は役を共有する
子どもの人数が少なくなり淋しい		生活の利便性（交通網など） 村の良さをPRする。デジタルを使って若い人にPR
人権に対する意識が低い		人権講演会（人権教日高支部主催）
田畑放棄		自分の得意を出し合う「お助け隊」を作る
役を受ける人が居なくなってきた		ボランティアグループ化（特化した）
開業医が高齢化		デジタル環境の整備 健康高齢者を表彰する
役員のなり手が無い		順番に役員をする 補助金を出してでも若い人に頑張ってもらう 代替わりして引退した人も現役に戻る 地域の人誰でも役員が出来るようにする 役員の仕事をできる人みんなで取り組む 役員に対してみんなが感謝する 区業務の業務量の見直し 適正配分！ 役員を補佐するお助け隊を設置する 業務の見直し 量・内容など 役員の業務マニュアルを整備する
息子に嫁がない		おせっかいおばさんを増やす
都会から子供が帰って来ない	但馬の真ん中にある	行ってみたいお店や施設・イベント等で来客を増やす
空き家、空き工場		日高地区の色々な情報が書かれた媒体を作る （冊子・サイトなど）
都会から子供が帰って来ない		様々な就職先を作る 働きたいところがないと帰って来ない

6. 今後の課題

今回、地域づくり計画を策定するにあたって、全世帯アンケート等を行いながらできるだけ多くの地域の方のご意見を反映できるように行ってきましたが、若い方や女性の方など、ジェンダーギャップ解消に向けた観点からのご意見をいただくことは今後も継続的に行っていく必要があります。

また、今回は「地域づくり計画策定」という大枠でのご意見をいただきましたが、具体的にテーマを絞って、それらに関連するような方にお集まりいただきながら（もしくは、集まられているところにコミュニティが出向いて行って）、よりよい地域づくりが行えるようにしていく必要があります。

さらに、資源として挙がっていた「きらめきサポーター」がより輝き、様々な方に関わっていただけるように広報・周知、サポーターさんにやっていただく内容などを検討していきます。

日高地区に住む誰もが楽しく、また、自身の得意を生かした地域づくりを行っていくよう今後も定期的に本計画も見直し、いただいた意見を反映させることによって実態に即した計画としていけるよう議論を重ねていきます。